

改訂の序

科学の進歩により、「生化学」の知識量は以前に比べはるかに膨大なものとなっているが、管理栄養士を目指す皆さんに求められる「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」の理解は、その柱の一つである「生化学」をマスターして初めて十分なものとなる。ヒトの全体像を分野横断的に把握し、生理的・病理的变化と個体の調節機構、生殖・発生・成長・発達、加齢と死、感染、免疫と生体防御などの機構と関連疾患を系統的に習得するためにも、生化学の理解は不可欠である。

食品学や栄養学から臨床栄養学まで知識を積み重ねる上で生命現象の仕組みと病態を分子レベルで理解することが必須であり、それは構造と機能及び物質の変化を学ぶことにほかならない。

本書は「テキスト」と「ワークノート」の2冊セットにより効果的に学習することを狙った『栄養科学イラストレイテッド』のノート版である。初版の発行から5年経ち、この度改訂のはこびとなった。改訂にあたり、全体的な内容の見直しをするとともに新たに第8章にミネラルを追加した。この自学自習用ノート版では、各項目の復習ならびに理解度をチェックしながら弱点の克服ができるような構成を目指した。まず、各章の冒頭で学ぶべきポイントや重要キーワードを把握し、その章で学ぶべき事項をイメージする。それから重要事項をまとめた「要点整理問題」で、空欄に用語を書き込みながら各章の重要事項を理解し、つかんでいく。仕上げに、国家試験に準じた選択形式の問題にトライする。わからなければまた前に戻って反復学習してほしい。

本書で取り上げたレベルを確実に自分のものにすることが、生化学を基盤とした専門科目を習得する最良の方法である。そのような観点から本ノートは構造式などを手書きする形式を採用している。構造式を書きながら姉妹版であるテキスト「生化学」の内容を思考することにより、物質の生理的意義や構造・機能の理解度がより一層アップするはずである。このことは、物質代謝はもちろん、各章で解説した内容においても同様であり、本書の十分な活用を願うものである。

本書改訂版が皆さんの生化学習得に役立つことを期待して

2012年7月

執筆者を代表して

蘭田 勝